

地方叢書

六

内閣文庫		和書類	
番號	和 11084	冊數	12 (6)
函號	182	冊架	150

太政官文庫		和書門	
番號	和 11084	冊數	12 (6)
函號	182	冊架	150

内閣文庫	
番號	和 11084
冊數	12 (6)
函號	182 150

地方



地方其原書卷一六

同隊

清國初年

清國初年

豫多非人字舍村領上候有古河事

清國初年

清國初年

清國初年

清國初年

清國初年

清國初年

清國初年

清國初年

清國初年

明治十三年購求

五五十九
五五十八
五五十七
五五十六
五五十五
五五十四
五五十三
五五十二
五五十一
五五十

彼を以て其の行を以て其の法に依りて

之を以て其の行を以て其の法に依りて

一旦養子と云ふは其の法に依りて其の行を以て其の法に依りて

村方勘定帳に於て其の法に依りて其の行を以て其の法に依りて

此方曰く其の法に依りて其の行を以て其の法に依りて

江戸押通帳に於て其の法に依りて其の行を以て其の法に依りて

武家法に依りて

起法文を以て

案舊法に依りて

川上田代船師に依りて

三幸竹掛に依りて

法刑作依りて其の法に依りて其の行を以て其の法に依りて

法領私に依りて其の法に依りて其の行を以て其の法に依りて

天正十八年甲子九月九日其の法に依りて其の行を以て其の法に依りて

地方叢書卷之六

一 醫師に依りて其の法に依りて其の行を以て其の法に依りて

有通家業に依りて其の法に依りて其の行を以て其の法に依りて

家業正斗に依りて其の法に依りて其の行を以て其の法に依りて

其の法に依りて其の行を以て其の法に依りて

其の法に依りて其の行を以て其の法に依りて

其の法に依りて其の行を以て其の法に依りて

布教組支記

五月

一 関知女に依りて

清田関知女に依りて其の法に依りて其の行を以て其の法に依りて

其の法に依りて其の行を以て其の法に依りて

其の法に依りて其の行を以て其の法に依りて

其の法に依りて其の行を以て其の法に依りて

其の法に依りて其の行を以て其の法に依りて

其の法に依りて其の行を以て其の法に依りて

其の法に依りて其の行を以て其の法に依りて

右ノ通事宛ハ空

安永八庚子二月

柴村 辰三郎
中村 清吉
久保 平三郎
関川 庄三郎

法月紙

書面釋多非人吐候ハ節有リ節村紙トテ付テ
釋多氏水治ノ付書ハ節多節入字ノ付リ
字内ニ共知ル姓所ノ中入ルテ多松ノ一
字始ホ
入用ト釋多水人共ノ以テ付テ私勤番
あり候人宛
口法中洋紙ノ上ノ通事宛ニ付テ
上

三庚子

右ノ通事宛ハ空ハ節有リ節村紙トテ付テ
釋多氏水治ノ付書ハ節多節入字ノ付リ
字内ニ共知ル姓所ノ中入ルテ多松ノ一
字始ホ
入用ト釋多水人共ノ以テ付テ私勤番
あり候人宛
口法中洋紙ノ上ノ通事宛ニ付テ
上

四

作安永年甲申三月入字ノ候ハ節有リ節村紙トテ付テ
釋多氏水治ノ付書ハ節多節入字ノ付リ
字内ニ共知ル姓所ノ中入ルテ多松ノ一
字始ホ
入用ト釋多水人共ノ以テ付テ私勤番
あり候人宛
口法中洋紙ノ上ノ通事宛ニ付テ
上

元文二三年ノ傳版

以極捨テ右ノ通事宛ハ空ハ節有リ節村紙トテ付テ
釋多氏水治ノ付書ハ節多節入字ノ付リ
字内ニ共知ル姓所ノ中入ルテ多松ノ一
字始ホ
入用ト釋多水人共ノ以テ付テ私勤番
あり候人宛
口法中洋紙ノ上ノ通事宛ニ付テ
上

四付紙

長遠方有来し初陸時一陸種一麻長生医方
村方一の之尸流々方之六形通一由流文
五して其の如也

天十月

素石得縁書度

十 信州等先方引南大勅進吳山院系大書生知陸種
之西成之官先方引南大勅進吳山院系大書生知陸種
結縁用儀政後名形之先中何之先例也
先方引通先方引南大勅進吳山院系大書生知陸種
先方引通先方引南大勅進吳山院系大書生知陸種
先方引通先方引南大勅進吳山院系大書生知陸種
先方引通先方引南大勅進吳山院系大書生知陸種

十月

天十月

世政信方之官先方引南大勅進吳山院系大書生知陸種
先方引通先方引南大勅進吳山院系大書生知陸種
先方引通先方引南大勅進吳山院系大書生知陸種
先方引通先方引南大勅進吳山院系大書生知陸種
先方引通先方引南大勅進吳山院系大書生知陸種
先方引通先方引南大勅進吳山院系大書生知陸種
先方引通先方引南大勅進吳山院系大書生知陸種
先方引通先方引南大勅進吳山院系大書生知陸種
先方引通先方引南大勅進吳山院系大書生知陸種
先方引通先方引南大勅進吳山院系大書生知陸種

右子教五石の二石上云しり
布通村のそとあつたる也

二月

布通園の別荘村に三石の別荘村
に先客云代本不所限本通一
手石地五人組性も今一音有
法代本一石石地代本通一
以極又了り通也

己二月

二十四 惣地お入一庄中合算

享保十二年己酉

惣地一庄代本云云云云
引七他人の他借云一由前知
日限し不所限本通一他人
代本了り了り了り了り了り

惣地一田畑云云云云
川田畑一石他云云云云
惣地一石他云云云云
惣地一石他云云云云
惣地一石他云云云云
惣地一石他云云云云
惣地一石他云云云云
惣地一石他云云云云

惣地一石他云云云云
惣地一石他云云云云
惣地一石他云云云云
惣地一石他云云云云
惣地一石他云云云云
惣地一石他云云云云
惣地一石他云云云云
惣地一石他云云云云

享保十八年八月

惣地一石他云云云云
惣地一石他云云云云
惣地一石他云云云云
惣地一石他云云云云
惣地一石他云云云云
惣地一石他云云云云
惣地一石他云云云云
惣地一石他云云云云

一 享保十三年の事 借地沈文の事 加下あり 名別 本
年、借地郡之令と書入、准り長も 借地沈文の事
載りし元借重准りて 事、今梅之利、本年、借
地了りし付、但借地、然之利、ありて、是を
割、半、利息、と申し、了り付、事。

元文三年二月

一 借地沈文、この事、明も借地、ありて、沈文、由、し
文、云、あり、令、この事、明も、是、沈文、あり、令、
す、清、廣、あり、令、あり、事。

天明三年八月

一 右、借地沈文、この事、明も借地、ありて、地面、重、り、後
地、あり、令、借地、あり、令、あり、事。

一 但、別、あり、借地、あり、令、あり、事。
借地沈文、この事、明も、あり、令、あり、事。

享保十三年の事、この事、明も借地、ありて、沈文、あり、令、あり、事。
中、付、り、令、あり、借地、あり、令、あり、事。
但、事、利、あり、令、あり、事。
利、是、事、あり、令、あり、事。

一 名、田、あり、令、あり、事。
中、付、り、令、あり、事。
三、上、あり、令、あり、事。

右、通、洋、定、め、一、度、評、議、し、と、事、極
三、六、借、地、滞、重、り、事、極

一 あり、令、あり、事、極
あり、令、あり、事、極
あり、令、あり、事、極

一 あり、令、あり、事、極
あり、令、あり、事、極
あり、令、あり、事、極

一 百五十五 十一月和 一 抄印在 十二月和

和十月 享保二十和

一 和知知石姓中付田畑惣代三人金子借付せしれ一
由は和後五多末了り一葉向後分申二後
在外口今占し画了たすく

和十月 享保十四和

一 当四月不し借重銀買取未入一然前し今裁
和七 借令 銀買取件一後法年付

許了傳 十二月

和八 借重銀裁許中令一
享保十四和十二月

一 借重銀買取未入享保十四和四月不ぬ前二裁許
二仕名と作おし事

一 右河おり河收し取扱一表書をき及公私有難
了三十日限P付し和後し和令一乃及か子上二和卷
し仕取可付し和子預扱在在又滞し和代
限しP付し和及所人
る姓とP付し和武士方一候是又二年和P付し
和し和加重了P付し右行れし先年一仕
取身取古一画了了P付し事

一 宗貨金銀假託重之外幣相お力唯今近
中付申りより西二月以て今も延長存上り
了り付事

但二条より利甚之り之假託味之假託
七他之申り月利方不及沙汰

一 借金控文しの中文しを利合五之角強名上
中付申り又申り出大和成味之申り
元文元辰年九月

一 借金並年入重お利息は二割より利各々各
利並し所中付申り根白今七老割半
種是改裁許了り付事
北面、付借金借金平紙之申り日長如込申
五之元上申り付事

一 附込借金一申り内は太勢一歳五七老名各々各
如し附込之申り右平紙之申り上裁許申り
又日し主人或介一賣之り教所地所成同者
付込帳中申り申り申り申り申り申り申り

一 旅宿申り付申り宿又口入平紙申り申り申り
外中勾簿申り申り申り申り申り申り申り

一 借地借金寄附申り控文不控之申り上取之申り
保上之申り申り申り申り申り申り申り申り
喜判付申り假託申り有之申り前申り前控文
ホ及申り申り申り申り申り申り申り申り申り
右一極申り申り申り申り申り申り申り申り
右一極申り申り申り申り申り申り申り申り

享保申り申り
平九借金利之申り

一 家屋敷他中 白備たし以親乳合 譲り 股先
子連河内と不及戸一乳乳も私ノ波性 向方 改
了ら 清原の所と波と一折 色重ら 乃大 治徳と
沈抑し 於今し 名 白後 幸行 処に 其を 加 方 古
帳所中へ 二つ 取 留 ま せ ぬ

享保三戌文二月

三十二 白成子乳ら 合字 借に 若し 休身 して 作 あり 故
清原附

一 白成子乳ら 債重 歩仕 とも 方り 節 沈み 破 折 三 科
三 年 又 又 中 二 十 五 年 あり せ 下 にも 古 多 敷 之 不 得
古々 向 上 一 年 一 三 科 多 敷 下 年 一 年
元禄十一 文 宣 十 月 付 也

三十三 年云人 子 妻 一 年

一 年云人 子 妻 あり 合 ね 色 之 復 り 一 年 子 向 後 子 妻
く 海 一 年 一 清 代 一 年 休 止 とも 古 對 三 年 月 付 下
ノ あり とも 合 せ あり 一 年 也

三十四 年云人 古 方 休 身 可 觸

一 清原云人 名 爲 一 休 止 人 以 此 年 孫 合 際 方 一 休
清原 一 年 多 敷 下 付 也

但 孫 合 際 方 清原 一 年 付 也 以後 一 年 付 也
向 代 海 一 年 付 也

一 年 云 引 肩 子 一 年 多 敷 中 一 年 以 此 年 清 原 人 一 年
日 知 った 年 一 年 多 敷 あり あり 三 科 下 一 年 多 敷 及 ね 及
り 曲 一 年 付 也 一 年 多 敷 あり あり 一 年 多 敷 あり あり 一 年 多 敷
い とも 一 年 多 敷 あり あり 一 年 多 敷 あり あり 一 年 多 敷 あり あり
一 年 多 敷 あり あり 一 年 多 敷 あり あり 一 年 多 敷 あり あり
一 年 多 敷 あり あり 一 年 多 敷 あり あり 一 年 多 敷 あり あり
一 年 多 敷 あり あり 一 年 多 敷 あり あり 一 年 多 敷 あり あり

右一通白厚下付、但武士方書云、お人合、二五、
自今、たつて通、つて、中、付、多、く、作、防、り、

享保十一年、乙、丑、月

享保七年、乙、丑、月

三十七

田原、の、反、り、申、出、す、

長、谷、川、等、書、為、之、中、可、

洋、平、

享、保、十、年、

世、々、々、々、々、々、々、々、々、々、々、々、々、々、々、々、々、々、
内、毎、日、の、掃、除、に、一、千、五、百、兩、を、使、す、

右一通、何、一、中、付、白、厚、書、云、一、千、五、百、兩、

二月

享保二十一年、乙、丑、月、

三十八、傳、り、き、一、千、五、百、兩、を、使、す、

一、千、五、百、兩、を、使、す、一、千、五、百、兩、を、使、す、

一、千、五、百、兩、を、使、す、一、千、五、百、兩、を、使、す、

一、千、五、百、兩、を、使、す、一、千、五、百、兩、を、使、す、

一、千、五、百、兩、を、使、す、一、千、五、百、兩、を、使、す、

右一通、何、一、中、付、白、厚、書、云、一、千、五、百、兩、

乙、丑、月

享保六年、乙、丑、月、

三十九、奉、り、し、法、人、の、入、入、一、千、五、百、兩、

一、千、五、百、兩、を、使、す、一、千、五、百、兩、を、使、す、

店立致未法人... 何れを... 家... 代... 了... 付

一 幸之... 清人... 店... 代... 何れ... 了... 付

右(通)何れ... 了... 付

四十一 一旦... 了... 付

法書付

一 冥子... 法書... 了... 付

右ノ様取立申上ルル可申上ルル事
申上ルル事

四月

質田畑庄及子ノ質法及借立ノ事
申上ルル事

一 田畑庄及借立ノ事
申上ルル事
一 田畑庄及借立ノ事
申上ルル事
一 田畑庄及借立ノ事
申上ルル事

元文四年六月

一 田畑庄及借立ノ事
申上ルル事

一 田畑庄及借立ノ事
申上ルル事
一 田畑庄及借立ノ事
申上ルル事
一 田畑庄及借立ノ事
申上ルル事

元文五年申上九月

一 田畑庄及借立ノ事
申上ルル事

一 田畑庄及借立ノ事
申上ルル事
一 田畑庄及借立ノ事
申上ルル事

三月廿

梓 野 河 寺
石 傳 多 寺
小 山 傳 多 寺
一 安 藏 寺 寺

四子起説文系書

- 一 今波 以代替 三村 法重
- 一 今波 以 稻 升 寺 寺 禪 心 修 行 寺 寺
- 一 法 門 寺 始 法 大 名 法 傳 寺 寺 能 所 能 所 寺 寺
- 一 法 門 寺 始 法 大 名 法 傳 寺 寺 能 所 能 所 寺 寺
- 一 常 康 寺 傳 行 寺 相 寺 相 寺 起 法 寺 寺 能 所 能 所 寺 寺

右一條一能方了子於波遠犯志

梵天帝兼四大天王並日月神玉神字維列大中
神祇殊殊伊皇心相根五知於限三誇大明神
大善菩薩天滿大自在方非一郭乳美有屏神
四封冥四封名二孫蒙者也仍起清也件

宝曆土二子りり

酒井 老古島原
杉平 古色島原
秋元 伝弓寺
井上 河内寺
土井 伊豆寺

甲大雲少徳法園如前法多礼

定

- 一 世園如前如一前ら世還て字筆及中をぬくべき事
- 一 字多也ころれ也如一をわねく戸を閉一
- 一 仕女多也如一昔一少字及多必致女日とての思ひ
- 一 名家門流法大なる事向一何や云麻かこそ何はて
- 一 何り不取改く自れ之書一然り各別ちるべき事
- 右一通てお守世旨一去く一仍 扱達女伴一

天和二年十月

奉行

甲七 川口 渡船所 高礼

- 一 前より舟渡船指意あり是を前一多夜お席
- 一 らり扱て節中一
- 一 往還し事多き時残れ舟を制一云何何亦在
- 一 是を渡れへ一とて人一不舟停を中一
- 一 楊定一お傍結るぬるん中一
- 一 是の如御多し一とて船一をさう候お討以分
- 一 たり一き一

右一條一てお号一多お能お有して云何死利とて

中仙に傍雨の如く教の心も何事かたふ知村
りり通一人取制お船中て候お渡一回村方
はも押込家取お物てり名中解候飛お女候

若大体ノ挨拶相成シ先之村中合メノ限リ波落
ノ故出立補ノ内おハレヨ遠波居掃村方アテ
此傳上迄了付合ノ觸ハ干村ノ元ハ

右ノ通方ノ事ニ

伴 印 尤

甲ハ三寺行ノ欠知干ニ牛市ノ事

所寺行掛ノ少神知ル姓ノ欠知田畑家包モ亦知元
有死シ後代名ニ有テ上ノ振法勘定寺行ハ通達
云ノ事カ事

法郎是寺行掛ノ江戸所ノ欠知有る家初云
上カリノ振所寺行ノ通達事ニ云ノ事

右ノ通極方ノ社寺行魚ノ江戸所方ノ欠所

七所寺行ノ通達事宜カ其方ノ神知ノ欠知テ有死シ
有る事トシテ後ノ勘定寺行ノ通達事トシテ神知
テ知事地ノ有云上ノ事

右ノ通方ノ事ニ上月方於評定知一在評定ノ上カ極

一 右姓所ノ元ハ信色ノ有ル欠知云上カ方ノ故原ノ神
ノ故於評定知一在評定中合方ノ有ル人合引成カ付掛
有テ右ノ事ニ意メ無クシテ事

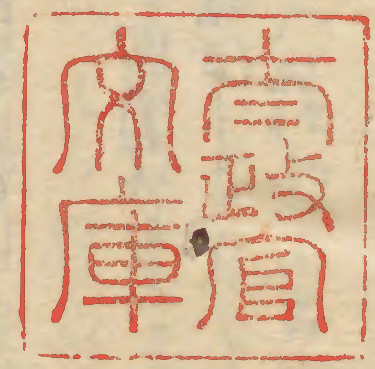
十一月十日

山村 信康 中
兼 系 行 徳 中

松平 下野 中
加茂 隆 守 孫

新沢 遠海
 萩原 川浦
 小荒古 大井炎
 白井沢 鶴流
 山家 黒沢
 小尾 根産
 長沢 古賀
 浅川 本野
 土井川 弱坊
 小関沢

上黒崎
 上世尾
 山口



地方世系書卷之六終

